

事業計画書

事業名	城下町・宿場町のまちづくり事業
場所	市内全域
実施予定期間	平成29年7月1日～3月20日
日程	実施項目・作業項目
	<p>沼津史談会は、郷土史に関する調査研究を行うとともに、文化財を次世代に伝承し、郷土の発展に寄与することを目的として、会報の発行・歴史講座の開催に取り組んできました。</p> <p>また、昨年度に他団体と連携して実施した「宿場町交流会」では、多くの市民の参加があったことから、郷土史の研究に対する市民ニーズが確認されました。</p> <p>そのため、市民参加による講座（沼津ふるさと講座）とワークショップを開催し、「城下町・宿場町の地図づくり」に取り組むとともに、同地図を活用した「まち歩き」の事業を実施し、城下町・宿場町としての沼津市の情報を市民に提供していきたいと考えている。</p> <p>スケジュールの詳細</p> <p>(講座開催)</p> <p>7月9日(日) 沼津ふるさと講座① 沼津の城下町・宿場町の研究・地図づくりを進めるにあたり、他市(岡崎)の事例検討を行う。 講師 市橋章男(岡崎塾歴史教室主宰) テーマ 大久保忠佐と岡崎 場所 市立図書館4階視聴覚ホール</p> <p>9月16日(土) 沼津ふるさと講座② 講師 平山優(武田氏研究会副会長「真田丸」時代考証担当) テーマ 武田氏滅亡と駿東・沼津 場所 市立図書館4階視聴覚ホール</p> <p>3月11日(日) 沼津ふるさと講座③ 講師 樋口雄彦(国立歴史民族博物館教授) 場所 市立図書館4階台1・2講座室</p> <p>(ワークショップ)</p> <p>8月26日(土) 市民ワークショップ「城下町・宿場町の地図づくり①」 沼津城内の井戸や外堀・内堀などの現地調査</p> <p>10月28日(土) 市民ワークショップ「城下町・宿場町の地図づくり②」</p> <p>12月23日(土) 市民ワークショップ「城下町・宿場町の地図づくり③」</p> <p>2月24日(土) 市民ワークショップ「城下町・宿場町の地図づくり④」</p> <p>(まち歩き)</p> <p>1月27日(土) 公募市民(50人)と、試作した地図を基にまち歩きを実施</p> <p>3月11日(日) 沼津ふるさと講座③終了後に、沼津城内のまち歩きを実施</p>

事業効果	<p>① まちづくりの新たな視点 今回の「宿場町交流会」は、まちづくりを宿場単位で考えるきっかけになるものであり、まちづくり活動に新たな視点（広域的な視点）がもたらされる。</p> <p>② まちづくりの方法の比較 共催団体である三地区の観光ボランティアガイド、沼津郷土史研究談話会、本町まちづくり研究会は、目的や方法が異なっており、沼津・観光まちづくり市民の会としては、これらと比較しながら、よりよい方法が模索できる。</p> <p>③ まちづくりの客観化 それぞれの宿場町の現状と過去、今後の方向などを客観的に評価することにより、まちづくりの新しい展望が得られる。</p>
------	--

※評価の視点については、募集の手引きを確認してください。

公益性	<p>旅行会社などが行うイベント企画とは異なり、三島・沼津・原の元宿場町に縁のある方などが、互いの地域の歴史や文化を学ぶことにより、それぞれが進める「まちづくり」に生かすことができる。</p>
発展性	<p>三島・沼津・原の住民がお互いのまちを学ぶことにより、それぞれの宿場町の違いを見いだすことが可能となり、これまでとは違う視点での考察を行うきっかけとなり、新たなまちづくり活動に結び付く。</p>
地域性	<p>三島・沼津・原と異なる講座をセットして、それぞれの地域における課題の掘り下げができるようにしたことにより、宿場町の持つ魅力が新たに発見できる。</p>
必要性	<p>同事業の実施により、それぞれの地域で活動する観光ボランティアが、広域的な視点（宿場町単位）での知識を身に着けることが可能となり、観光ボランティアの更なる質の向上につながり、沼津市の観光振興に寄与することが可能となる。</p>
先導性	<p>宿場町の交流という観点が新しく独自の発想である 三地区（三島・沼津・原）の観光ボランティアガイド、沼津郷土史研究談話会、本町まちづくり談話会など、多様の団体が連携しよりよいまちづくりのありかたを検討していくことができる。</p>
継続性	<p>これまででない、新しい取り組みであることから、事業実施における財源確保をはじめ本事業の結果を検証し、それぞれのまちで生かせる方法を整理する。</p>